

The Eyrie Vineyards

ジ・アイリー・ヴィンヤーズ



オレゴン州ウィラメット・ヴァレー、ダンディ・ヒルズ
設立：1966年
オーナー：ジェイソン&ダイアナ・レット
醸造家：ジェイソン・レット
自社畑：約27ha
年間総生産量：10,800ダース



Dundee Hills, Willamette Valley, Oregon / USA
Est.: 1966
Owner: Jason & Diana Lett
Winemaker: Jason Lett
Estate Vineyard: 27ha
Production: 10,800 dozen
<http://www.eyrievineyards.com>

オレゴンワインの夜明け

アイリーの創設者、故デイヴィッド・レットはオレゴン州ウィラメット・ヴァレーに初めてピノ・ノワールを植えたパイオニアで、“パパ・ピノ”の愛称とともに、今日ワイン銘醸地となったオレゴンの象徴的存在として、現在も多くに語り継がれる人物です。

デイヴィッドと妻ダイアナは1965年、ダンディー・ヒルズに見つけた南斜面の緩やかな丘陵地にカリフォルニアから自ら持ち運んだ穂木を3,000本植えました。それらはUCデイヴィス校が収集したピノ・ノワールとピノ・グリに加え、デイヴィッドがナバのドレイパー・ランチの畑から採取したシャルドネの穂木です。

開墾した畑に高く聳える松の木があり、そこに鷹が巣を作ったことから、ワイナリーの名前を鷹や鷲が木の高所に作る巣を指す「eyrie (アイリー)」をとって、「ジ・アイリー」としました。

オレゴンワイン発展の契機となった2つの快挙

1979年、仏ゴ・エ・ミヨ誌は世界33ヶ国から300本を超えるワインを集め、大規模なブラインド・テイスティング「ワインオリンピック」を開催。ここでジ・アイリー・サウスブロック・リザーブ・ピノ・ノワール1975がピノ・ノワール部門トップ10に入賞し、アイリーの名が一躍世界に知られます。この結果に驚いたジョセフ・ドルーアン社が翌1980年、同社のピノ・ノワールを集めて行なったブラインド・テイスティングでアイリーの同ワインはシャンボール=ミュジニエと0.2ポイント差で2位に入り、オレゴン・ピノ・ノワールの可能性が世界に示されました。

ジェイソンが引き継ぐ「5つの畑」と彼の新たな試み

ジ・アイリー・ヴィンヤーズは、経営・栽培・醸造すべてを2005年から次男のジェイソン・レットが指揮をとっています。開墾当初の畑ジ・アイリー（旧オリジナル・ヴァインズ）に加え、シスターズ、アウトクローブ、ローランド・グリーン、ダフニーの合計5のヴィンヤードではすべて有機栽培が実践されています。

2012年、各ヴィンヤードの樹齢が20年を超え、ワインに畑の個性が映し出されるようになったことから、ジェイソンは畑の名を冠した単一畑ピノ・ノワールのリリースを開始しました。

また同年に新たにトゥルソーを植え、オレゴンでの新たな品種の可能性にも挑んでいます。

開墾当初の畑「ジ・アイリー」はすべて自根でしたが、20年ほど前からブドウ樹の根にフィロキセラが徐々に広がっていることから、病気の速度を抑えながら、少しづつ台木へ植え替えを行っています。

醸造所と献身的なスタッフ

醸造所はマクミンビル市街地にある1960年代の七面鳥加工場を改築した建物で、1970年の初ヴィンテージから現在まで使用されているが、近い将来、ダンディ・ヒルズの畑のそばに新醸造所の建設が計画されている。

アイリーでは自生酵母による自然発酵と極力人的介入を避けた自然な造りを基本とし、低温浸漬や過度な抽出をせず小ロットごとに仕込まれる。アイリーのパイオニア精神と哲学はジェイソンの緻密な仕事ぶりとともに、2世代にわたって、畑やワイナリーを支えるメキシコ人家族ら長年働くスタッフに支えられている。

ヴィンヤード・マップ & 畑情報 <http://bit.ly/3EhLCLK>



生産者紹介動画【銘醸地オレゴンのパイオニアとして】
<https://youtu.be/22UitJifpfk>



ジ・アイリー・ヴィンヤーズ醸造家インタビュー
【オレゴンのレジェンドを引き継ぐ2代目の覚悟】
『ヴィレッジ・セラーズワインカタログ』2021冬 掲載記事
<http://bit.ly/31ePTkD>



近年の受賞・評価など

- ・Estate Pinot Gris 2021: 94pts Wine Advocate
- ・Estate Pinot Noir 2019: 97pts Wine Advocate
- ・The Eyrie Pinot Noir 2017: 96pts James Suckling

Code	商品名	年号	種類	希望小売価格
12398	Estate Pinot Gris	2021	白	¥ 6,400
12399	Estate Chardonnay	2021	白	¥ 9,000
12542	Estate Trifolium	2020	赤	¥ 7,000
11281	The Eyrie Pinot Gris	2017	白	¥ 9,300
12549	The Eyrie Chardonnay	2019	白	¥15,000
11924	The Eyrie Pinot Noir	2017	赤	¥14,500

Recommended Retail Prices do NOT include Consumption Tax. Vol. is 750ml unless otherwise specified.
希望小売価格は税別表示です。容量は、明記されていないものは750ml。

(2024年3月)

エステート・シリーズ



エステート・ピノ・グリ
Estate Pinot Gris

洋ナシのアロマにハチミツと石っぽいニュアンスを含み、膨らみのある口当たり。ステンレスタンクで11ヶ月シュルリー熟成。アメリカで最初に造られたピノ・グリ。

樹齢：20-30年

畑：ジ・アイリー、シスターズ、ダフネ、ローランド・グリーン。平均樹齢29年。

* 2019年よりラベルデザイン変更。



エステート・シャルドネ
Estate Chardonnay

オークの風味が柑橘とグレープフルーツのアロマに溶け込み、リッチさとフレッシュさがバランスよく均衡。樽発酵させているがオークの風味は控えめで、ピュアなテクスチャーが広がる。

樹齢：5-50年

畑：ジ・アイリー、シスターズ

* 2019年よりラベルデザイン変更。



エステート・ピノ・ノワール
Estate Pinot Noir

5つの自社畑のブドウから造られる、アイリーらしさが示されたクラシックなスタイル。ストロベリーの果実をほのかなスモーキーさが縁取り、焦点の合った鮮やかな赤い果実が表現され、軽快なタンニンがフィニッシュに伴う。

* 2017年よりラベルデザイン変更。



エステート・トリフォリウム
Estate Trifolium

赤い果実の芳醇なアロマ、ジューシーで快活な果実をタンニンと伸びやかな酸が支える。自社栽培の赤3品種全てをブレンドすることから、三つ葉を意味するトリフォリウムと名付けた。手摘みブドウを除梗し自然発酵、フレンチオーク樽（新樽率17%）で28ヶ月間熟成。



トゥルソー
Trousseau

鮮やかな赤紫色で、ダークベリー、粘土、ベークィングスパイスの香り。ブラックベリー、ザクロ、ルバーブ、ハーブの風味が滑らかなテクスチャーのもとで広がる。亜硫酸無添加。

2012年植え付け、2015年が初リリース。

畑：シスターズ



ピノ・ムニエ
Pinot Meunier

淡い色調で、ストロベリー、ラズベリーに鉄っぽいミネラルが縁取り、軽快なタンニンが長く余韻まで続く。

畑：ダフニー（設立当初、ジ・アイリーの畑に植えたの古木の穂木を台木に接ぎ木して定植）



シャルドネ〈ドレイパー・セクション〉について

アイリーのシャルドネの多くはドレイパー・セクションと呼ばれるユニークなクローンで構成されている。ドレイパー・セクションの起源は、1930年代ヨーロッパからカリフォルニアに持ち込まれた複数のクローンからなる穂木で、1940年代にナバ、セント・ヘレナにあるドレイパー・ランチの畑に植えられた。デイヴィッドはドレイパー・ランチのヴィンヤード・マネージャーとともに働いていた縁で、特に良質なブドウを実らせる樹から穂木を採集し、オレゴンへ持ち運んだ。

ジ・アイリー・シリーズ

- * ワイナリー設立当初、1966-74年にかけて植えられた最初の畑（自根の樹）から限定数造られる。
- * 2017年ヴィンテージより、旧名称オリジナル・ヴァインズ、リザーヴはジ・アイリー（単一畑）と改名。



ジ・アイリー・ピノ・グリ
The Eyrie Pinot Gris

洋梨のコンポートと柑橘の香りで、力強く、凝縮した果実が口内を覆う。ピュアな質感のもと、ミネラルが長い複雑な余韻となり、洗練されたフィニッシュが続く。設立当初1966-74年に植えた自根の単一畑から限定数で造られる。

クローン：アルガス選別
生産量：約150 ダース



ジ・アイリー・シャルドネ
The Eyrie Chardonnay

果実の凝縮度と繊細さを兼ね備え、きめ細やかなテクスチャーのもと、ミネラリーな長い余韻が伴う。設立当初1966-74年に植えた自根の単一畑から限定数で造られる。

クローン：ドレイパー・セレクション（複数クローン）
生産量：約110 ダース

単一区画（ピノ・ノワール）



ジ・アイリー・ピノ・ノワール
The Eyrie Pinot Noir

開墾初期に自根で植えられた畑から造られるフラグシップ。淡い色調で、赤い果実のアロマに鉄分、ミネラルが混じる。中間から後半にかけ膨らみが増し、エレガントで複雑な余韻が長く残る。

植付け：1966-74年/2.8ha/標高90-143m/南向き
クローン：ヴェイデンスヴィル、ポマール
生産量：約450 ダース



サウス・ブロック・リザーヴ・ピノ・ノワール
South Block Reserve Pinot Noir

最初に植えたジ・アイリーの畑の中でいくつか異なる土壌が混ざり合ったL字時型の1区画から極僅かな量で造られるスペシャルキュベ。ミネラルが際立ち、スケールが大きく、驚くほど複雑なニュアンスに満ちている。

植付け：1966-74年（100%自根）/南向き
クローン：ポマール、ヴェイデンスヴィル
生産量：60ダース以下

4つの単一畑ピノ・ノワール

2012年よりそれぞれ単一畑の特徴が表現された樽のみを厳選し、限定リリース。それ以外はエステート・ピノ・ノワールにブレンドされる。



シスターズ・ピノ・ノワール
Sisters Pinot Noir

オリジナル・ヴィンヤードの北東350m、アーチェリー・サミットの畑の真下に位置。チェリー、ラズベリーの果実は芳香で、しなやかさと快活な酸が調和。

「シスターズ」の名はこの畑にピノ・ノワールの姉妹、ピノ・グリとピノ・ブランが植えられていることにちなむ。

植付け：1989年-現在/1.6ha/標高75-115m/南向き
クローン：ポマール、ヴェイデンスヴィル
生産量：約500 ダース



アウトクロップ・ピノ・ノワール
Outcrop Pinot Noir

ジ・アイリーの畑との間の林を挟んだ山腹の下に位置し、唯一北東向きの畑。赤いベリーの果実の後にスパイシーさとミネラルな風味が広がり、適度な硬さがある。畑の下層に隆起した岩石があることから「アウトクロップ（露頭）」と名付けられた。

植付け：1982-2000年/2.0ha/標高97-125m/北東向き
クローン：ヴェイデンスヴィル
生産量：約170 ダース



ローランド・グリーン・ピノ・ノワール
Roland Green Pinot Noir

ジ・アイリーの畑北西に位置し、表土が浅く、痩せた赤土火山性土壌。土っぽく、ヨードやミネラルがラズベリーの果実に溶け込み、全房発酵由来の芳香な香りとシルキーなテクスチュアが際立つ。畑の名はデイヴィッド・レットの父、ローランド・グリーンの名にちなむ。

植付け：1988年-2016年/2.0ha/標高188-250m/南向き
クローン：ポマール、ヴェイデンスヴィル
生産量：約200 ダース



ダフニー・ピノ・ノワール
Daphne Pinot Noir

ダンディ・ヒルズで最も標高の高い位置にあり、岩石が混じる排水性がよい火山性土壌。西向き斜面で沿岸からの西風の影響を直接受けるため、ブドウの成熟が緩やかで収穫はいつも最後となる。

フローラルな香りに包まれ、清らかでフェミニン。74年に最初にブドウを植えたジョン・シェツキーの妻、ダフニーの名にちなむ。

植付け：1974-2016年
密植/0.6ha/標高270-284m/西向き

クローン：ポマール
生産量：約200 ダース

* 単一畑(および区画) は数量限定。

* 年号や価格は予告なく変更することがございます。

* 各ワインの詳しい資料は弊社ホームページ上の生産者ワイン詳細をご参照下さい。

(2024年3月)

ヴィレッジ・セラーズ株式会社



ヴィンヤード・マップ & 畑情報 <http://bit.ly/3EhLCLk>

